

平成21年6月15日

香川大学法学会講演会のお知らせ

主催：香川大学法学会

共催：香川大学法学部・香川大学愛媛大学連合法務研究科

香川大学法学会では、さまざまな視点から法学・政治学を学ぶ機会を提供するため、法学・政治学に携わって活躍されている方をお招きして、講演会を開催しております。今回は、半世紀以上も、香川県青松園での療養生活を強いられてきた神さんをお招きして、ハンセン病対策の歴史的経緯や現状、今後の課題等について、ご自身の体験も交えて伺いながら、学び、考える機会としたいと思います。多数の関心のある学生・一般成人のご参加をお待ちしております。

【概要】

演題：「 **隔離の100年を問う：****ハンセン病問題の歴史とハンセン病問題基本法の制定後の課題** 」講師：神 美知宏（こう みちひろ）氏
（全国ハンセン病療養所入所者協議会 事務局長）

日時：平成21（2009）年 6月24日（水）（13：30～15：30）

場所：香川大学法学部第3講義室（法学部棟2階）

参加料：無料

※ご来学の際は、公共交通機関をご利用下さい。

神 美知宏（こう みちひろ）氏

昭和9年福岡県生まれ

香川県・大島青松園に療養歴56年。

平成7年6月、全国ハンセン病療養所入所者協議会事務局長に就任。

ハンセン病療養所入所者の人権・尊厳の確立、偏見と差別の撤廃と社会復帰の促進、

入所者の医療福祉等待遇改善、ハンセン病療養所の将来構策定等のため、全国各地で活動を展開。



➤ 問い合わせ先：
香川大学法学部 平野美紀
TEL：087-832-1716